



# 戦前中国の風俗絵はがきの世界 (近藤恒弘氏 寄贈)

## 支那に於ける民衆風俗 第二輯

孫 安石 (非文字資料研究センター 研究員)



図2 面白き小間物商店頭の看板  
THE INTERESTING SIGN  
BOARD OF THE FANCY  
GOODS STORE.



図3 何でも揃ふ金物屋  
PICTURE OF THE  
HARDWARE STORE.



図1 支那における民衆風俗  
第二輯  
POPULAR CUSTOM OF  
CHINESE



図4 (賣買生活) 掛聲面白き糶賣市場  
(MERCHANT'S LIFE.)  
VERY FUNNY SHOUTING ACTION.



図5 小春に悠長な鳥師  
PICTURE OF THE BIRD-FANCIER  
AT MANCHU.

### 大正写真工芸所

「支那に於ける民衆風俗 第一輯」の印刷は青島新報社によるものであるが、ここに紹介する「支那に於ける民衆風俗 第二輯」の印刷は大正写真工芸所によるものである。日本国内の絵はがきや写真などを手がける印刷大手の一つであった大正写真工芸所は、1913年頃和歌山市で営業を開始し、精巧な印刷技術とコロタイプ印刷で急成長し、日本に限らず、朝鮮、満州においても多くの写真帳や絵はがきなどを発行した。「ハト」印(【図6】参照)は同社のロゴマークとして知られている。中国や満州に関連する写真帳として、近藤コレクションの中に収められている同所発行の『北支那民衆風俗写真帳』(1937年)、『北支の展望』(1938年)等にもこれらの絵はがきと同一の写真が掲載されていることから写真の使い回しがあったことは分かるが、詳細は不明である。



ハト印



図6 郵便はがき  
CARTE POSTALE



図7 路傍にて公開せる奇術師  
THE STREET JUGGLER PLAYING TRICKS  
BY THE ROAD SIDE.



図8 (職人生活) 修繕忙かき靴直し  
(WORKMAN'S LIFE.)  
THE COBBER MENDING  
THE SHOES VERY BUSY.



図9 調子難し一輪車  
PICTURE OF A  
WHEEL-BARROW AT  
MANCHU.



図10 炎天の下に働く苦力  
PICTURE OF THE  
WORKING COOLIES  
IN THE SUN.



図11 先祖傳来の乗用馬車  
PICTURE OF PRIMITIVE  
OMNIBUS AT MANCHU.



図12 今朝の収穫に喜ぶ農夫  
PICTURE OF JOYFUL  
FARMERS IN THE  
MELON FIELD.



図13 書齋に於ける老人  
PICTURE OF OLD MAN  
IN THE LIBRARY.

## 中国の「風俗」の世界と後藤朝太郎

戦前の日本人の中国趣味を最も刺激した言い回しの一つに「支那の風俗」という表現がある。これは従来の支那学を代表する漢学や古典研究を批判することを意味し、多くの場合、文献よりも実地調査を標榜し、四書五経の世界ではなく、一般民衆の世界の理解を重んじることを主な内容としたものである。

その場合、私の脳裏にまっ先に浮かぶのは、東京大学で言語学を学んだ後、拓殖大学、日本大学の教授を歴任し、中国の民情、風俗、民俗に関する膨大な数の著作を残している後藤朝太郎の存在である。明治末から昭和の戦前までの間、北京や上海などの都市部は言うまでもなく、地方都市や奥地を踏破した後藤の研究手法は、いま風にいえば徹底したフィールド・ワークによる民衆の観察であったとも言えよう。後藤の著作を年代別に並べれば、1920年代までの作品は言語学を基礎にした学術書籍が多いものの、それ以降は中国の実情をよく知る「支那通」の一人として200冊に近い書籍を刊行している。

『支那民俗の展望』（富山房、1936年）の序において後藤は次のように語っている。

「(前略) いつまでも壁に彩色された画餅を見せられて詩を吟じていたりするよりも、もっと切実な実社会の状態なり、衣食住の真の民俗生活なりを具体的に知り弁へていなくては根拠のある支那認識はできないと云う時代にまで推移して来た。経籍詩文の上のみの支那知識も、固より結構であるが、それよりも真に身に汗し、自ら耕して食らい、自ら掘って飲むという農夫たちを土台とする実生活の方面や、また田夫、漁翁、船頭、商賈、工匠たちの間の年中行事や、冠婚葬祭、その他一般習俗や、慰安娯楽の内容と云うものの実際を知りたいという欲求が勃々として起って来たのである」

今回、非文字資料研究センターの『ニューズレター』に紹介する戦前中国の風俗絵はがきコレクションを通して、ひとまず、戦前中国の風俗の世界を再吟味する機会としたい。